

生鮮食用向け水産品の出荷先と出荷量の増加

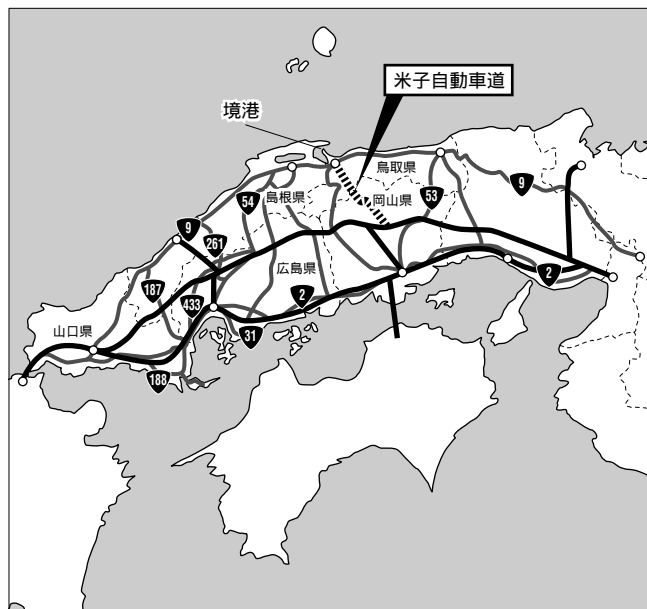
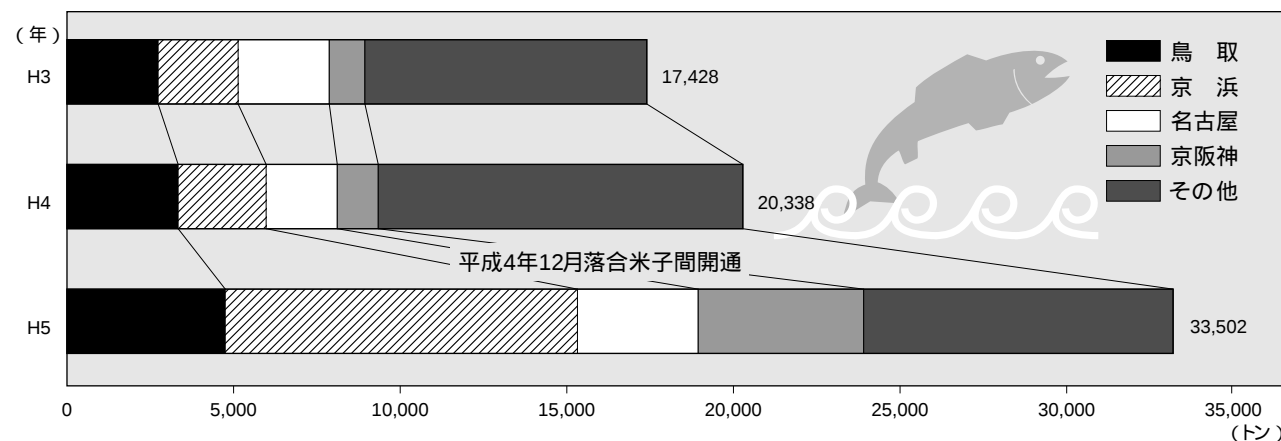
漁獲量日本一を誇る鳥取県境港

- ・鳥取県境港の平成5年の総漁獲量は約69万トン。
- ・水揚げされた主要魚種約62万トンのうち生鮮食用向け（鮮魚）出荷量は、約5%、3万3,502トン。

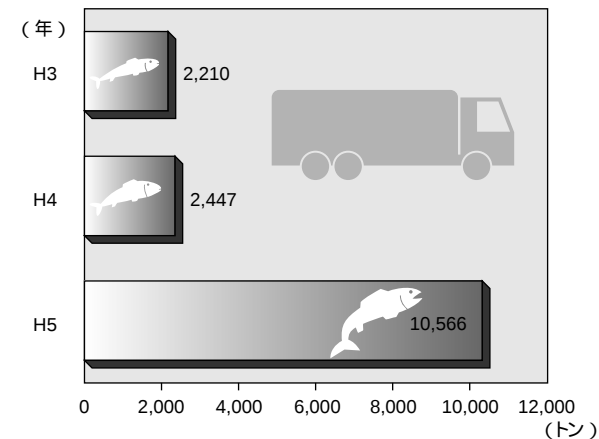
京浜、京阪神への出荷量は飛躍的に増加

- ・平成4年12月、中国横断自動車道岡山米子線（米子自動車道）が全線開通し、中国自動車道につながった。
- ・国道431号から新たな輸送ルートが確保され、平成5年の京浜、名古屋、京阪神方面への出荷量は全体の56%、1万8,607トンに上った。
- ・平成4年の5,762トンを大きく上回り、特に京浜、京阪神はともに4倍前後という飛躍的な増加。
- ・このルートは、流通や観光などを目的に利用者が増加。

- 生鮮品の県内外への出荷量が、1.9倍に拡大
（生鮮食用向け漁獲の出荷先と出荷量 / 鳥取県境港）

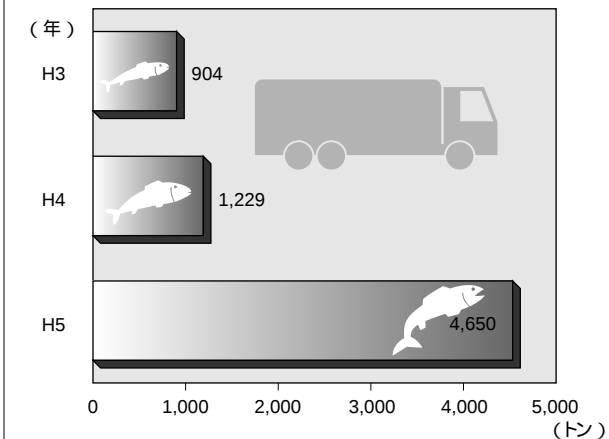


- 京浜への出荷量も約5倍に増加



資料 / 鳥取農林統計協会(平成7年1月)

- 京阪神への出荷量は約5倍に



資料 / 鳥取農林統計協会(平成7年1月)